

商業音楽科 シラバス

科目名	音楽理論(ミュージックセオリー(2))		担当教員名	小林 延江
時間数	60	必修・選択	配当年次	(2)年次
曜日・時限			教室	
授業の到達目標	スケールの仕組みや曲の雰囲気の特徴付けるKeyについて、移調の仕方、楽譜に書かれた記号の演奏方法について、コードの概念と構造について理解することにより、楽譜をもう少し深いところまで読み取る力を身につけていくことを目標とする。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する教科書、補助プリント、楽譜と音源を使い、実際に楽譜の中でどのように書かれ、使われているか、どう使っていくか等紹介しながら講義し、ワークブックを用いて繰り返し練習していきながら習得していく。			
【実務経験】2009年より大阪スクールオブミュージック専門学校で勤務。その他、宝塚エジュケーションクラブ、第一楽器(株)等の音楽教室でピアノ講師として後進の指導にもあたっている。				
回数	授業形態	内容		
1	講義	マイナースケールの仕組み・5度圏を用いてナチュラルマイナーの説明		
2	講義	ハーモニックマイナー、メロディックマイナーの説明		
3	講義	近親調・それぞれの調の関係を楽譜を用いて知る		
4	講義	五線を用いて移調を出来るようになる		
5	講義	省略記号、奏法記号、装飾記号を知る		
6	講義	楽譜と音源を用い、前半の総復習		
7	講義	確認テスト		
8	講義	コードの概念とトライアドの構造について知る		
9	講義	トライアドの知識を踏まえ、7thコードに発展させる		
10	講義	トライアドと7thコードの響きの違いを曲を用いて知る・dimコードの構造と響き		
11	講義	add9、sus4、6thコードについて知る		
12	講義	楽譜と音源を用い、後半の総復習		
13	講義	期末予備テスト		
14	講義	期末テスト		
15	講義	テスト返却、復習		
準備学習 時間外学習	教科書の該当ページを読んでから出席			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	出席回数、授業態度、筆記試験の総合評価		
教材	教科書	ゼロから始める音楽理論、ワークブック		
	参考書			
学生への メッセージ	楽譜は慣れです！楽譜に触れる機会をたくさん増やし、楽譜に書かれていることを正確に読み取れる力を身につけていけるよう日々の授業をコツコツ取り組んでいきましょう。			

商業音楽科 シラバス

科目名	音楽トレーニング(イヤートレーニング2)	担当教員名	小林 延江
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限			教室
授業の到達目標	<p>《リズム》4分の3拍子・4分の4拍子で、4分音符、8分音符、16分音符、4分休符、8分休符、付点8分音符の混ざったリズムを聴き取れるように。</p> <p>《メロディー》C～Cまで(1オクターヴ/跳躍進行あり)《2声メロディー》Key:Cのメロディーを正確に聴き取り楽譜に書き表せるように。</p> <p>《音程》1～8度までの音程の理解を深める。</p>		
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する</p> <p>キーボードで弾く音を聴き取り、リズムを感じ、それを表現するトレーニングを行っていく授業です。音感・リズム感・感性を身につけていくと共に、音を集中して聴く力(集中力)、聴こえてきた音を正確に楽譜に表す力も身につけていきます。</p>		
【実務経験】	2009年より大阪スクールオブミュージック専門学校で勤務。その他、宝塚エジュケーションクラブ、第一楽器(株)等の音楽教室でピアノ講師として後進の指導にもあたっている。		
回数	授業形態	内容	
1	講義	復習(C～Gまで) マイナースケールのメロディー視唱/復習(1～8度) 音程ドリル/Major, Minorの聞き分け	
2	講義	3連符の導入 / 復習(C～Gまで) Cマイナースケールのメロディー視唱/音程ドリル/C, G, Fの聞き分け	
3	講義	復習(C, G, Fコード付け導入・後付け)/C～A まで(臨時記号後付け)/マイナースケールのメロディー視唱/音程ドリル/Major, Minorの聞き分け	
4	講義	C～A まで(臨時記号後付け) /復習 音程ドリル	
5	講義	付点8分音符・16分音符の導入/(タイの導入・後付け)/C～B まで(臨時記号後付け)/復習 音程ドリル	
6	講義	テスト対策週(まとめ)	
7	講義	テスト	
8	講義	テスト返却/リズム打ち6/8拍子導入/ベース(F-clef)の書き取り(C～G)/Major, Minorの聞き分け	
9	講義	リズム打ち6/8拍子/ベース(F-clef)の書き取り(C～G)/復習 音程ドリル	
10	講義	8分音符・16分音符の導入/リズム打ち6/8拍子 /Major, Minorの聞き分け	
11	講義	リズム打ち6/8拍子 /2声メロディー/復習 音程ドリル	
12	講義	総復習 (リズム打ち6/8拍子)/1オクターブ・2声メロディー	
13	講義	テスト対策週(まとめ)	
14	講義	テスト	
15	講義	テスト返却・復習	
準備学習 時間外学習	教科書の該当ページを読んでから出席		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	出席回数、授業態度、筆記試験の総合評価	
教材	教科書	イヤートレーニング	
	参考書		
学生への メッセージ	週1回の授業を大切に！こつこつと積み重ねていくことで少しずつ耳は鍛えられていきます。継続して授業に出席することを定着させ、正確な音感・リズム感を身につけていきましょう。		

商業音楽科 シラバス

科目名	レコーディング実習(PAベーシック2)	担当教員名	井出 賢吾
時間数	150	必修・選択	配当年次
曜日・時限			教室
授業の到達目標	PA エンジニアとしての基礎 音響信号の流れを理解し、各種機材のセッティング、電源の重要性、安全性の確保ができる。 現代PAシステムの理解と興味を持たせる。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する PAエンジニアになるために必要な知識やテクニックを実習を通じて学ぶ。		
【実務経験】	OSM卒業生。有限会社 津川プロ代表として、イベント・コンサートなどを手掛ける。		
回数	授業形態	内容	
1	演習	前期の復習	
2	演習	UPAのAMPの使い方、GEQの切り方	
3	演習	αシステム、デジタル卓	
4	演習	仕込みとやること、RHと本番の違い	
5	演習	Profileの使い方、さまざまなデジタル卓を理解する	
6	演習	Profileの使い方、さまざまなデジタル卓を理解する	
7	演習	Profileの使い方、さまざまなデジタル卓を理解する	
8	演習	デジタル卓のデータづくり	
9	演習	デジタル卓のデータづくり	
10	演習	デジタル卓のデータづくり	
11	演習	PAシステムのセットアップ、チェック、MIX	
12	演習	PAシステムのセットアップ、チェック、MIX	
13	演習	PAシステムのセットアップ、チェック、MIX	
14	演習	PAシステムを使った音響信号の発信①	
15	演習	PAシステムを使った音響信号の発信②	
準備学習 時間外学習	「PA入門 改訂版」「音響映像設備マニュアル 2019年改訂版」を活用して予習復習しましょう		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%。	
教材	教科書	ipad	
	参考書		
学生への メッセージ			

商業音楽科 シラバス

科目名	PA実習(PAワークショップ)	担当教員名	上林 隆
時間数	90	必修・選択	配当年次
曜日・時限			2年次
		教室	LS-1
授業の到達目標	<p>リーダーシップを発揮し、計画性を持って、技術的、人間的に尊敬されるプロフェッショナルなサウンドエンジニアを目指す。</p> <p>そして周り(照明スタッフ、アーティストなど)に気配りをしながらもコミュニケーションをとれること。</p> <p>それから充分に安全面にお互い(全員)で注意して仕事をする事。</p>		
授業の内容	<p>2週～3週かけてLS-1の説明をしてからスタートします。</p> <p>アーティストをブッキングされた後にプランを考え、機材を決定した後、使用方法などをレクチャーします。</p> <p>コラボレーションなので朝の打ち合わせから仕込み～チューニング～SC～リハーサル～本番～撤去 というタイムスケジュールに沿って授業を進めます。チューニングの前後に照明チームのシュートが入ります。</p> <p>ただし、単純に本番まで行うのではなく、その週の議題を折り込み進めます。</p> <p>出席者が多数の場合は2週に1度はMIX卓を操作していただきたい。</p>		
【実務経験】	MSIにてコンサートオペレーターとして活躍。現在はフリーランスとして関西のイベント・コンサートを手掛ける。		
回数	授業形態	内容	
1	演習	LS-1 / コラボレーション授業について、仕込み～バラシetc 年間目標立て Vo.1	
2	演習	LS-1 / コラボレーション授業について、仕込み～バラシetc 年間目標立て Vo.2	
3	演習	メインシステム(Vertec)について レベル設定とチューニング (Profile) Vo.1	
4	演習	メインシステム(Vertec)について レベル設定とチューニング (Profile) Vo.2	
5	演習	モニターシステム、レベル設定とチューニング(M7, 5DH, PS15) Vo.1	
6	演習	モニターシステム、レベル設定とチューニング(M7, 5DH, PS15) Vo.2	
7	演習	スムーズなサウンドチェックとリハーサル Vo.1	
8	演習	スムーズなサウンドチェックとリハーサル Vo.2	
9	演習	スムーズなサウンドチェックとリハーサル Vo.3	
10	演習	マイクロフォン / 楽器や音楽ジャンルによるマイク選定とアレンジ Vo.1	
11	演習	マイクロフォン / 楽器や音楽ジャンルによるマイク選定とアレンジ Vo.2	
12	演習	マイクロフォン / 楽器や音楽ジャンルによるマイク選定とアレンジ Vo.3	
13	演習	デジタル / Vertec Lake Smaart の理解 Vo.1	
14	演習	デジタル / Vertec Lake Smaart の理解 Vo.2	
15	演習	前期の総括 プランニングした事柄をタイムスケジュールに沿って行う	
準備学習 時間外学習	授業で使う機材の特性などを確認する		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	試験による評価100%	
教材	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ	音響における基礎からの授業です。とにかく出席してください！ そして機材を操作しましょう！全てはそこから始まります。		

商業音楽科 シラバス

科目名	PA実習(PAテクニック)	担当教員名	澤田真一	
時間数	60	必修	配当年次	2年次
曜日・時限			教室	LS-1
授業の到達目標	PAにより興味を持たせ、スキルアップ、その先の就職へと繋ぐことを目標としています。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する1年時に学んだ基本知識を基に、実際の現場に則した内容へとスキルアップを図ります。			
【実務経験】	アップスサウンド代表として、コンサート、発表会、イベントなどを手掛ける。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	イントロダクション(1.年間の授業内容 2.就職を目標として)		
2	演習	デジタルミキサー(1.基本機能 2.レイテンシー(遅延)について)		
3	演習	マイク・DIの音質の違い(実際に楽器や声で、その変化や違いを体感する)		
4	演習	コンプ、ゲートの原理と使用(機器と音についての理解)		
5	演習	リバーブ、ディレイの原理と使用(機器と音についての理解)		
6	演習	音響測定について-1(音響測定の内容を理解する)		
7	演習	スピーシステム-1(スピーカーの指向性)		
8	演習	スピーシステム-2(グランドスタックとフライング)		
9	演習	スピーシステム-3(ポイントソースとラインアレー)		
10	演習	ワークショップ-1(舞台機構技術検定について)		
11	演習	ワークショップ-2(舞台機構技術検定について)		
12	演習	ワークショップ-3(舞台機構技術検定について)		
13	演習	ワークショップ-4(舞台機構技術検定について 模擬テスト)		
14	演習	楽器について-1(アコースティックギター、エレキギターの音についての研究)		
15	演習	楽器について-2(ドラムセットについての研究)		
準備学習 時間外学習	疑問を常にメモしましょう。授業で使う機材の特性を調べて参加			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技試験100%		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ				

商業音楽科 シラバス

科目名	番組企画制作(配信番組制作1)		担当教員名	藤田祐司			
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 前期			
曜日・時限			教室	メディアセンター・ワン・スタジオ			
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・企画書作成の基礎知識と作成能力の育成。プレゼンテーションテクニックの習得 ・Web配信番組制作を通して、TV番組の組み立て方と基礎知識を習得 ・カメラワーク、編集テクニックなど機材の基本操作術と、編集ソフト等の基礎的な使用方法の習得 ・チームでの制作実習を通して、各役割の仕事内容とチームプレイの重要性を習得 						
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する</p> <p>ニッポン放送からスカパー局長を経て、番組・音楽制作の現場30年以上の実践の中で体感してきたこの業界は、近年、大きな変革期を向かえています。特に今後増々需要が高まるWeb配信はこの業界の大きなアイテムです。</p> <p>この授業では実際に番組制作現場で使われている映像中継システムを使い、学生たちの企画する番組を全世界に向けて配信します。発想をどのように企画し具現化していくか、そしてそれらを技術力でどう表現するか…。多くの人々に感動を届けるTVマンの世界を理論と感性で実践し、チームでのコミュニケーション能力を身に付けながら、これからの番組制作現場で必要とされる人材の育成を目指します。</p>						
回数	授業形態	内容					
1	演習	1年間の授業内容と目標 / 自己紹介 / TV番組制作の世界(各役割紹介)					
2	演習	発想を具現化し、実現するためのツール【企画書の作成基礎】					
3	演習	実際の生放送の番組制作現場を見学【役割とチームプレイ】					
4	演習	機材に触れよう1(放送カメラを使って撮影の基礎を学ぶ)					
5	演習	機材に触れよう2(編集機材を使って編集の基礎を学ぶ)					
6	演習	ショートムービーの制作に挑戦!(チーム分けと「企画書」の作成)					
7	演習	↓					
8	演習				(企画書に基づいた「撮影」)		
9	演習				(「編集」によって作品の骨格を完成)		
10	演習	(作品チェックと修正編集で作品完成)					
11	演習	↓					
12	演習	(完成作品の「試写」により、問題点の整理と心構えの育成)					
13	演習	番組制作の役割と適合性を知る(ディレクター、カメラマン、編集マンの役割)					
14	演習	放送局の現場をユニークに描いたドラマの試写					
15	演習	放送局の現場をユニークに描いたドラマの試写					
16	演習	前期まとめ(後期のWeb配信番組制作に向けて)レポート課題					
17	演習	前期まとめ(後期のWeb配信番組制作に向けて)レポート課題					
準備学習 時間外学習	日常の中で「サプライズ」と「感動」の仕掛けを想像し、番組制作において最重要である「演出」のテクニックを考察すること。						
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1)実技・チームワークの態度 50% 2)制作課題 50%					
教材	教科書	実際にTV番組で使用した企画書・台本					
	参考書	実際に放送されたTV番組					
学生への メッセージ	TV番組の制作は「アイデアを生むチカラ」と「発想を具現化しカタチにする経験」が重要です。この授業で、「実践し体験し実感」しましょう。 番組制作の裏話や視聴率を取るための☺話は必見!番組制作のすべてを経験してきた現役プロデューサーだからできる実践型の授業です。さあ皆さん、共に考え、共に創りましょう。皆さんの未来のために!!						

商業音楽科 シラバス

科目名	番組企画制作(配信番組制作2)	担当教員名	藤田祐司	
時間数	30	必修・選択	配当年次	
曜日・時限			2年次 後期	
		教室	メディアセンター・ワン・スタジオ	
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 企画書作成の基礎知識と作成能力の育成。プレゼンテーションテクニックの習得 Web配信番組制作を通して、TV番組の組み立て方と基礎知識を習得 カメラワーク、編集テクニックなど機材の基本操作術と、編集ソフト等の基礎的な使用方法の習得 チームでの制作実習を通して、各役割の仕事内容とチームプレイの重要性を習得 			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する</p> <p>ニッポン放送からスカパー局長を経て、番組・音楽制作の現場30年以上の実践の中で体感してきたこの業界は、近年、大きな変革期を向かえています。特に今後増々需要が高まるWeb配信はこの業界の大きなアイテムです。</p> <p>この授業では実際に番組制作現場で使われている映像中継システムを使い、学生たちの企画する番組を全世界に向けて配信します。発想をどのように企画し具現化していくか、そしてそれらを技術力でどう表現するか…。多くの人々に感動を届けるTVマンの世界を理論と感性で実践し、チームでのコミュニケーション能力を身に付けながら、これからの番組制作現場で必要とされる人材の育成を目指します。</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	1年間の授業内容と目標 / 自己紹介 / TV番組制作の世界(各役割紹介)		
2	演習	発想を具現化し、実現するためのツール【企画書の作成基礎】		
3	演習	実際の生放送の番組制作現場を見学【役割とチームプレイ】		
4	演習	機材に触れよう1(放送カメラを使って撮影の基礎を学ぶ)		
5	演習	機材に触れよう2(編集機材を使って編集の基礎を学ぶ)		
6	演習	ショートムービーの制作に挑戦！(チーム分けと「企画書」の作成)		
7	演習			
8	演習			(企画書に基づいた「撮影」)
9	演習			(「編集」によって作品の骨格を完成)
10	演習			(作品チェックと修正編集で作品完成)
11	演習	(完成作品の「試写」により、問題点の整理と心構えの育成)		
12	演習	番組制作の役割と適合性を知る(ディレクター、カメラマン、編集マンの役割)		
13	演習	放送局の現場をユニークに描いたドラマの試写		
14	演習	放送局の現場をユニークに描いたドラマの試写		
15	演習	後期まとめ(後期のWeb配信番組制作に向けて)レポート課題		
準備学習 時間外学習	日常の中で「サプライズ」と「感動」の仕掛けを想像し、番組制作において最重要である「演出」のテクニックを考察すること。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1) 実技・チームワークの態度 50% 2) 制作課題 50%		
教材	教科書	実際にTV番組で使用した企画書・台本		
	参考書	実際に放送されたTV番組		
学生への メッセージ	<p>TV番組の制作は「アイデアを生むチカラ」と「発想を具現化しカタチにする経験」が重要です。この授業で、「実践し体験し実感」しましょう。</p> <p>番組制作の裏話や視聴率を取るための☺話は必見！番組制作のすべてを経験してきた現役プロデューサーだからできる実践型の授業です。さあ皆さん、共に考え、共に創りましょう。皆さんの未来のために！！</p>			

商業音楽科 シラバス

科目名	番組企画制作(TV照明1)	担当教員名	中西正人
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限			教室
授業の到達目標	前期は、テレビ照明の基礎を学び、舞台照明との違いを明確に理解する。目指す方向性を自分の中に捉えるように成長し、現場での理解力とスタッフのコミュニケーションの向上。		
授業の内容	教科書を用いた講義と、カメラ・モニター・照明機材を扱い演習・テレビ局の見学		
【実務経験】	株式会社キレイ代表。サンテレビでの勤務を経て独立。		
回数	授業形態	内容	
1	演習	テレビ照明の特徴と技法	
2	演習	基本照明の実習	
3	演習	スタジオ機構・設備、安全対策	
4	演習	音楽照明 I	
5	演習	読賣テレビ局の見学	
6	演習	まとめ・試験	
7	演習	ロケーション照明 室内編	
8	演習	ドラマ照明	
9	演習	CM照明	
10	演習	CM照明	
11	演習	ロケーション照明 屋外編	
12	演習	ロケーション照明 屋外編	
13	演習	音楽照明 II	
14	演習	音楽照明 III	
15	演習	ロケーション照明 屋外・屋内の対応	
準備学習 時間外学習	舞台・テレビジョン照明 基礎編 テレビスタジオの機構と スタジオ設備・テレビ照明の特徴と技法・テレビにおける照明の仕事		
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	試験60%・授業態度20%・出席率20%	
教材	教科書	・舞台・テレビジョン照明[基礎編][技能編][知識編],映像照明	
	参考書	日本照明家協会雑誌・(株)キレイの現場写真	
学生への メッセージ	志というものがあれば、あらゆる難関を超える力になる。情熱は身体全身から発するパワーで人の心が動く。天才とは努力を続ける能力です。		

商業音楽科 シラバス

科目名	番組企画制作(TV照明2)	担当教員名	中西正人
時間数	30	必修・選択	配当年次
曜日・時限			教室
授業の到達目標	前期は、テレビ照明の基礎を学び、舞台照明との違いを明確に理解する。目指す方向性を自分の中に捉えるように成長し、現場での理解力とスタッフのコミュニケーションの向上。		
授業の内容	教科書を用いた講義と、カメラ・モニター・照明機材を扱い演習・テレビ局の見学		
【実務経験】	株式会社キレイ代表。サンテレビでの勤務を経て独立。		
回数	授業形態	内容	
1	演習	前期振り返りと後期の授業内容について	
2	演習	基本照明の実習	
3	演習	スタジオ機構・設備、安全対策	
4	演習	音楽照明 I	
5	演習	読売テレビ局の見学	
6	演習	対談・ワイドショー照明	
7	演習	ロケーション照明 室内編	
8	演習	ドラマ照明	
9	演習	CM照明	
10	演習	ロケーション照明 屋外編	
11	演習	ロケーション照明 屋外編	
12	演習	音楽照明 II	
13	演習	ロケーション照明 屋外・屋内の対応	
14	演習	ロケーション照明 屋外・屋内の対応	
15	演習	後期まとめ・後期期末試験	
準備学習 時間外学習	舞台・テレビジョン照明 基礎編 テレビスタジオの機構と スタジオ設備・テレビ照明の特徴と技法・テレビにおける照明の仕事		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	試験60%・授業態度20%・出席率20%	
教材	教科書	・舞台・テレビジョン照明[基礎編][技能編][知識編],映像照明	
	参考書	日本照明家協会雑誌・(株)キレイの現場写真	
学生への メッセージ	志というものがあれば、あらゆる難関を超える力になる。情熱は身体全身から発するパワーで人の心が動く。天才とは努力を続ける能力です。		

商業音楽科 シラバス

科目名	映像企画制作(ステージワークショップ)		担当教員名	小西 弘幸
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限			教室	LS-1
授業の到達目標	実際の現場に於いても基礎的な要望に対応できる技術と知識を得る。 仕事に対する理解を深める。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載するオペレーターとしてのスキルを高める。自らデザインして完成を高める。仕事の流れを把握する。			
【実務経験】 株式会社マミー代表。MUSIC CIRCUS、コヤブソニックなどを手掛ける。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	授業の流れ、目的を理解する。		
2	演習	仕込み実習。仕込み図の理解。フォーカス等。		
3	演習	仕込み実習。適切な器具及びケーブルの選択、配線。		
4	演習	コンソールのベーシックトレーニング。		
5	演習	他のセクションとの作業を通じて現場的ルールや配慮、時間配分		
6	演習	アーティストを迎えてのオペレーション		
7	演習	アーティストを迎えてのオペレーション		
8	演習	アーティストを迎えてのオペレーション		
9	演習	アーティストを迎えてのオペレーション		
10	演習	アーティストを迎えてのオペレーション		
11	演習	アーティストを迎えてのオペレーション		
12	演習	アーティストを迎えてのオペレーション		
13	演習	アーティストを迎えてのオペレーション		
14	演習	プラン演出について		
15	演習	プラン演出について		
準備学習 時間外学習	振り返りをしましょう。授業で使う機材の特性を調べて参加			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技100%。		
教材	教科書			
	参考書	必要時に配布。		
学生への メッセージ	失敗を恐れず様々なアイデアやテクニックを試みてください。 自ら培った知識、技術、経験、感性は最高の土台となり多くの実がつく大木へと成長します。			

商業音楽科 シラバス

科目名	映像企画制作(ステージワークショップ)		担当教員名	小西 弘幸
時間数	90	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限			教室	LS-1
授業の到達目標	実際の現場に於いても基礎的な要望に対応できる技術と知識を得る。 仕事に対しての理解を深める。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載するオペレーターとしてのスキルを高める。自らデザインして完成を高める。仕事の流れを把握する。			
【実務経験】 株式会社マミー代表。MUSIC CIRCUS、コヤブソニックなどを手掛ける。				
回数	授業形態	内容		
1	演習	授業の流れ、目的を理解する。		
2	演習	仕込み実習。仕込み図の理解。フォーカス等。		
3	演習	仕込み実習。適切な器具及びケーブルの選択、配線。		
4	演習	コンソールのベーシックトレーニング。		
5	演習	他のセクションとの作業を通じて現場的ルールや配慮、時間配分		
6	演習	アーティストを迎えてのオペレーション		
7	演習	アーティストを迎えてのオペレーション		
8	演習	アーティストを迎えてのオペレーション		
9	演習	アーティストを迎えてのオペレーション		
10	演習	アーティストを迎えてのオペレーション		
11	演習	アーティストを迎えてのオペレーション		
12	演習	アーティストを迎えてのオペレーション		
13	演習	アーティストを迎えてのオペレーション		
14	演習	プラン演出について		
15	演習	プラン演出について		
準備学習 時間外学習	振り返りをしましょう。授業で使う機材の特性を調べて参加			
成績評価	1. 実技試験 (%) 2. 筆記試験 (%) 3. 課題 (%)	実技100%。		
教材	教科書			
	参考書	必要時に配布。		
学生への メッセージ	失敗を恐れず様々なアイデアやテクニックを試みてください。 自ら培った知識、技術、経験、感性は最高の土台となり多くの実がつく大木へと成長します。			

商業音楽科 シラバス

科目名	プロダクション実務(TACプロジェクト3)	担当教員名	堤福男・松下俊樹	
時間数	90	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限			教室	707
授業の到達目標	産学連携で企業様とイベントなどに取り組み、コミュニケーション能力や、外部の人との関係性を構築させることで、学生の目標である音楽業界への就職に一人でも多く繋げることを目標とする。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する			
	【1コマ目】チーム毎と個人の報告会、情報交換会を実施(スタッフ各自が1週間の発表をすることで、個々のコミュニケーションスキルを鍛え、就職面接などにも役立てる) 【2コマ目】産学連携でお世話になっているメディアプルポさんのイレギュラーで入ってくるテレビ番組収録や公開ライブの現場に参加するための講義。【3コマ目】後期の目標であるイベント企画(7月29日)の課題に取り組みます。			
	【実務経験】マネージャー業をはじめ、イベントのプロモーション、メディア制作等にも携わる。現在はそれらの業務に加え、後進の育成にもあたる。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	TACプロジェクトの産学連携の授業内容に関して		
2	演習	スケジュール管理や報告のまとめ方についての説明、レクチャー		
3	演習	イベントの企画(7月29日)立案のレクチャー		
4	演習	イベントに出演するアーティストを選定するためのオーディションをレクチャー		
5	演習	イベントプロモーションやSNSの活用法を学ぶためのレクチャー		
6	演習	フライヤーの制作、デザインのためのレクチャー		
7	演習	制作したフライヤーなど、販促物の配布を行う宣伝活動を実施		
8	演習	イベントに必要な資料(タイムテーブル、セット図など)の作成をレクチャー		
9	演習	樋口宗孝がん研究基金代表(柳澤様)特別講義		
10	演習	マネジメントについての知識を学ぶためのレクチャー		
11	演習	7月29日のイベントの準備を実施		
12	演習	後期のイベントの企画(10月25日)立案のレクチャー		
13	演習	9月6日のテレビ収録現場の準備やレクチャー		
14	演習	イベントに出演するアーティストを選定するためのオーディションを実施		
15	演習	イベント(10月25日)のプロモーションの実施		
準備学習 時間外学習	イレギュラーで入ってくるテレビ収録やイベント現場対応、ならびに企業様への対応に向けた準備を日々おこなっていく			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1.実技100%		
教材	教科書	適時、必要資料を配布します。		
	参考書	適時、必要資料を配布します。		
学生への メッセージ	学外の企業様や実際に現場で活躍されている方々とコミュニケーションを取る場を設けますので、関係性を自分自身でも構築していきましょう。皆さんの将来のために繋がる学びの場としますので、前向きに取り組んでいきましょう。			

商業音楽科 シラバス

科目名	プロダクション実務(TACプロジェクト4)	担当教員名	堤福男・松下俊樹
時間数	60	必修・選択	配当年次
曜日・時限		教室	2年次 後期 707
授業の到達目標	産学連携で企業様とイベントなどに取り組み、コミュニケーション能力や、外部の人との関係性を構築させることで、学生の目標である音楽業界への就職に一人でも多く繋げることを目標とする。		
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する		
	【1コマ目】産学連携でお世話になっているメディアプルポさんのイレギュラーで入ってくるテレビ番組収録や公開ライブの現場に参加するための講義.及び各イベント企画 【2コマ目】後期の目標であるイベント企画.及びマネジメントの課題に取り組みます.		
	【実務経験】マネージャー業をはじめ、イベントのプロモーション、メディア制作等にも携わる。現在はそれらの業務に加え、後進の育成にもあたる。		
回数	授業形態	内容	
1	演習	制作したフライヤーなど、販促物の配布を行う宣伝活動を実施	
2	演習	イベントに必要な資料(タイムテーブル、セット図など)の作成をレクチャー	
3	演習	10月25日のイベントの準備を実施	
4	演習	10月25日のイベントの運営	
5	演習	10月25日のイベントの振り返り・総括	
6	演習	10月25日のイベントに関する学生によるプレゼンテーション	
7	演習	テレビ収録現場の準備やレクチャー	
8	演習	テレビ収録現場でのワークショップ	
9	演習	テレビ収録現場に関する振り返り	
10	演習	マネジメントについての知識を学ぶためのレクチャー	
11	演習	事務所所属アーティストのマネジメント実践(レコーディング)	
12	演習	事務所所属アーティストのマネジメント実践(ライブ準備・制作)	
13	演習	事務所所属アーティストのマネジメント実践(ライブ運営)	
14	演習	各マネジメントチームによる報告会	
15	演習	総括	
準備学習 時間外学習	イレギュラーで入ってくるテレビ収録やイベント現場対応、ならびに企業様への対応に向けた準備を日々おこなっていく		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1.実技100%	
教材	教科書	適時、必要資料を配布します。	
	参考書	適時、必要資料を配布します。	
学生への メッセージ	学外の企業様や実際に現場で活躍されている方々とコミュニケーションを取る場を設けますので、関係性を自分自身でも構築していきましょう。また構築した関係を活かし、主体的に授業に取り組んでください。皆さんの将来のために繋がる学びの場としますので、前向きに取り組んでいきましょう。また、1年間の集大成にもなりますので今まで学んだことを存分に発揮してください。		

商業音楽科 シラバス

科目名	楽器メンテナンス(PRO TOOLS)		担当教員名	福岡直子
時間数	150	必修・選択	配当年次	2年次
曜日・時限			教室	501教室
授業の到達目標	Pro Toolsの基本操作をもとに、周辺機器のセットアップ、トラブルシューティング、データ管理のスキルアップ			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する音楽制作における「DAW」。そのシステムで使用されるアプリケーションの一つである「Pro Tools」を中心に、付随する周辺機器、関連アプリケーション、ファイル管理(マスターデータ、納品方法など)システム構築の概要を習得。</p> <p>実務経験:2000年大阪スクールオブミュージック専門学校を卒業後、VISTA STUDIOに2年勤務、2002年からアルケミースタジオに所属。 サウンドエンジニアとして様々なアーティストのレコーディング、ミックス、マスタリングを手掛ける。</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	ファイル管理(階層構造の再確認)。マスター(オリジナル)データとバックアップデータについて学ぶ。		
2	演習	ハードウェアやI/O設定(仕組み、新規作成、設定のインポート/エクスポート)を学ぶ。		
3	演習	クロックリファレンスとクロックソース、同期を学ぶ。		
4	演習	初期設定(プラグインや各種設定)の構築を研究。		
5	演習	DAW全般のトラブルシューティングを学ぶ 1		
6	演習	Pro Tools/エフェクト(Plug-in)、編集、実践 1		
7	演習	DAW全般のトラブルシューティングを学ぶ 2		
8	演習	Pro Tools/エフェクト(Plug-in)、編集、実践 2		
9	演習	DAW全般のトラブルシューティングを学ぶ 3		
10	演習	Pro Tools/エフェクト(Plug-in)、編集、実践 3		
11	演習	DAW全般のトラブルシューティングを学ぶ 4		
12	演習	Pro Tools/エフェクト(Plug-in)、編集、実践 4		
13	試験	実技テスト、解答解説		
14	試験	筆記テスト、解答解説		
15	演習	後期総復習		
準備学習 時間外学習	授業や個人的にPro Toolsを使用して疑問に思ったことをメモ。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1)実技試験 50% 2)筆記試験 50%		
教材	教科書			
	参考書	音響設備マニュアルなど □		
学生への メッセージ	スキルをさらに磨いて、現場で活かせるよう身につけましょう			

商業音楽科 シラバス

科目名	コンピューターミュージック(ミュージックビデオ制)		担当教員名	林 耐治
時間数	90	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限			教室	A503
授業の到達目標	1年次に習得した知識、技術、感性の深化。より優れた映像作品の完成を目指す。実習を中心に行い、作品を作りながら、あるいは作品の鑑賞を通じて、適宜、撮影、編集、演出の指導をしていく。			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する</p> <p>毎週、課題を与え映像作品を作ってもらふ。また、公募作品にも積極的に参加し、受賞を狙う。</p> <p>1年次に取り組んだようなPV制作を初回の授業より始める。基本的には5限目がトレーニング。6限目がPV制作とする。(状況によって入れ替わる可能性あり)1年次は段取りや限られた時間の中で制作を体験してもらい「現場感」を知ってもらったが、2年次の前期はきちんと被写体に演出と時間をかけ、「なっとくのいく良い絵作り」に挑戦してもらい、演出能力を高めてもらう。具体的には女性モデルを数人起用し、各モデルのオリジナルPVを制作。「かわいい」「きれい」「かっこいい」女性を撮影し、編集でCGなどを加えながら仕上げる。ミュージックビデオの制作は後期に予定しているが、学生の意欲と実力いかんでは前期も実施する可能性あり。</p> <p>実務経験：ドラマ、CM、イベントやコンサート動画、ドキュメンタリー、ライブ中継など</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	1年次後期に作成したPVの検証。課題を与えて即興作品作り。		
2	演習	モデルPVの制作準備とトレーニング		
3	演習	モデルPVの制作準備とトレーニング(編集編1)※チーム編成、内容決定		
4	演習	モデルPVの制作準備とトレーニング(編集編2)※絵コンテ制作		
5	演習	モデルPVの制作準備とトレーニング(撮影編)		
6	演習	モデルPVの制作準備とトレーニング(撮影編)		
7	演習	モデルPVの制作準備とトレーニング(撮影編)		
8	演習	モデルPVの制作		
9	演習	モデルPVの制作		
10	演習	モデルPVの制作		
11	演習	モデルPVの制作		
12	演習	公募用映像の制作		
13	演習	公募用映像の制作		
14	演習	公募用映像の制作		
15	演習	公募用映像の制作		
準備学習 時間外学習	制作した映像を見て、詳細におよぶ振り返り			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1.授業に対する取り組み姿勢 50% 2.授業内で制作する作品および提出課題の出来 50%		
教材	教科書	講師より適時、プリントを配布		
	参考書	月刊誌 ビデオサロン (玄光社より毎月 発行)		
学生への メッセージ	1年次に私の授業を受講してくれた学生は、着実に力をつけてくれています。その力をさらに伸ばすため、制作機会をさらに増やし、自身で「気づく」授業を展開していきます。忙しいですが、とにかく作る楽しみに満ちた時間を過ごしていきましょう。			

商業音楽科 シラバス

科目名	コンピューターミュージック(ミュージックビデオ制作4)		担当教員名	林 耐治
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限			教室	A503
授業の到達目標	1年次に習得した知識、技術、感性の深化。より優れた映像作品の完成を目指す。実習を中心に行い、作品を作りながら、あるいは作品の鑑賞を通じて、適宜、撮影、編集、演出の指導をしていく。			
授業の内容	<p>※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する</p> <p>毎週、課題を与え映像作品を作ってもらう。また、公募作品にも積極的に参加し、受賞を狙う。</p> <p>1年次に取り組んだようなPV制作を初回の授業より始める。基本的には5限目がトレーニング。6限目がPV制作とする。(状況によって入れ替わる可能性あり)1年次は段取りや限られた時間の中で制作を体験してもらい「現場感」を知ってもらったが、2年次の前期はきちんと被写体に演出と時間をかけ、「なっとくのいく良い絵作り」に挑戦してもらい、演出能力を高めてもらう。具体的には女性モデルを数人起用し、各モデルのオリジナルPVを制作。「かわいい」「きれい」「かっこいい」女性を撮影し、編集でCGなどを加えながら仕上げる。ミュージックビデオの制作は後期に予定しているが、学生の意欲と実力いかんでは前期も実施する可能性あり。</p> <p>実務経験：ドラマ、CM、イベントやコンサート動画、ドキュメンタリー、ライブ中継など</p>			
回数	授業形態	内容		
1	演習	作成したPVの検証。課題を与えて即興作品作り。		
2	演習	モデルPVの制作準備とトレーニング		
3	演習	モデルPVの制作準備とトレーニング(編集編1)※チーム編成、内容決定		
4	演習	モデルPVの制作準備とトレーニング(編集編2)※絵コンテ制作		
5	演習	モデルPVの制作準備とトレーニング(撮影編)		
6	演習	モデルPVの制作準備とトレーニング(撮影編)		
7	演習	モデルPVの制作		
8	演習	モデルPVの制作		
9	演習	モデルPVの制作		
10	演習	モデルPVの制作		
11	演習	公募用映像の制作		
12	演習	公募用映像の制作		
13	演習	公募用映像の制作		
14	演習	公募用映像の制作		
15	演習	公募用映像の制作		
準備学習 時間外学習	制作した映像を見て、詳細におよぶ振り返り			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1.授業に対する取り組み姿勢 50% 2.授業内で制作する作品および提出課題の出来 50%		
教材	教科書	講師より適時、プリントを配布		
	参考書	月刊誌 ビデオサロン (玄光社より毎月 発行)		
学生への メッセージ	1年次に私の授業を受講してくれた学生は、着実に力をつけてくれています。その力をさらに伸ばすため、制作機会をさらに増やし、自身で「気づく」授業を展開していきます。忙しいですが、とにかく作る楽しみに満ちた時間を過ごしていきましょう。			

商業音楽科 シラバス

科目名	ステージライティング(LTベーシック)		担当教員名	株式会社ハートス
時間数	90	必修・選択	配当年次	2年次 前期
曜日・時限			教室	LS1
授業の到達目標	照明機材 調光卓の基本的な操作 オペレート技術の習得。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 実務経験 株式会社ハートスより15年以上の教員が 舞台照明の基本的知識を講義・演習を行う。 また 実地に基づき様々な機材を使用し照明実習を行う。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	照明の仕事について 授業内容説明 前期目標設定 機材説明		
2	演習	機材説明 操作方法 種類と仕組みについて		
3	演習	機材説明 操作方法 種類と仕組みについて		
4	演習	仕込みの基本説明 調光操作卓の基本説明 実習		
5	演習	仕込み図の説明 カラーフィルター取扱い 種類 仕込み図を読み解く		
6	演習	調光操作卓の操作説明 照明機材による 表現方法		
7	演習	シュート棒 脚立による シュート方法 実習		
8	演習	PINSPOТ 操作実習		
9	演習	現場での様々なトラブルを想定 対処方法実習		
10	演習	調光操作卓の操作説明 サブマスター エフェクト実習		
11	演習	調光操作卓の操作説明 Qシーン作成 自動演出 1		
12	演習	調光操作卓の操作説明 Qシーン作成 自動演出 2		
13	演習	PINSPOТ 操作実習 1		
14	演習	PINSPOТ 操作実習 2		
15	演習	PINSPOТ 操作実習 3		
準備学習 時間外学習	前回で行った操作を次の授業までに繰り返し行う			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1.100% 授業に対する取り組み・理解力確認・総合評価60点以上合格		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ				

商業音楽科 シラバス

科目名	ステージライティング(LTベーシック2)	担当教員名	株式会社ハートス	
時間数	60	必修・選択	配当年次	2年次 後期
曜日・時限			教室	LS1
授業の到達目標	照明機材 調光卓の基本的な操作 オペレート技術の習得。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する 実務経験 株式会社ハートスより15年以上の教員が 舞台照明の基本的知識を講義・演習を行う。 また 実地に基づき様々な機材を使用し照明実習を行う。			
回数	授業形態	内容		
1	演習	照明の仕事について 授業内容説明 前期目標設定 機材説明		
2	演習	機材説明 操作方法 種類と仕組みについて		
3	演習	機材説明 操作方法 種類と仕組みについて		
4	演習	仕込みの基本説明 調光操作卓の基本説明 実習		
5	演習	仕込み図の説明 カラーフィルター取扱い 種類 仕込み図を読み解く		
6	演習	調光操作卓の操作説明 照明機材による 表現方法		
7	演習	シュート棒 脚立による シュート方法 実習		
8	演習	PINSPOТ 操作実習		
9	演習	現場での様々なトラブルを想定 対処方法実習		
10	演習	調光操作卓の操作説明 サブマスター エフェクト実習		
11	演習	調光操作卓の操作説明 Qシーン作成 自動演出 1		
12	演習	調光操作卓の操作説明 Qシーン作成 自動演出 2		
13	演習	PINSPOТ 操作実習 1		
14	演習	PINSPOТ 操作実習 2		
15	演習	PINSPOТ 操作実習 3		
準備学習 時間外学習	前回で行った操作を次の授業までに繰り返し行う			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	1.100% 授業に対する取り組み・理解力確認・総合評価60点以上合格		
教材	教科書			
	参考書			
学生への メッセージ				

商業音楽科 シラバス

科目名	楽器レッスン(ファンデーション・ギター)		担当教員名	浅沼毅一
時間数	150	必修・選択	配当年次	2年次
曜日・時限			教室	EN232
授業の到達目標	簡単なメロディの演奏(単音)が出来るようになること。簡単なコード譜に合わせて適切なスタイルのリズムで伴奏(和音)が出来るようになること。また実際の譜面を通してプロミュージシャンとして必要な最低限の楽譜の知識や理論も身につける。			
授業の内容	※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する ギター未経験者、初級レベルの学生を対象に、エクササイズや課題曲を通してギターを弾くために必要な知識やテクニックを段階に応じて学んでいきます。4beat、8beat、16beat rhythmなどの演奏スタイルに特化した課題曲を演奏する事でそれぞれの違いを体感し学びます。			
【実務経験】大阪スクールオブミュージック卒業後渡米、Berklee音楽大学へ入学。2002年パフォーマンス科を優等で卒業後帰国、各種演奏の仕事に参加。2002年より母校である大阪スクールオブミュージックにて教鞭をとる。				
回数	授業形態	内容		
1	実習	ギターの各部位の名称、仕組み、チューニング、ピックの持ち方、ギターの構え方		
2	実習	ピックで任意の弦を弾く(単音、和音) パワーコード(Root+5th)		
3	実習	コード進行に合わせてコードチェンジ(コードは3つ程度)		
4	実習	右手のストローク・リズム(全音符、二分音符、四分音符、八分音符)		
5	実習	ピッキングヴァリエーション(ダウン、アップ、オルタネイト)		
6	実習	ブリッジミュートなどの右手のテクニック		
7	実習	実際にアンプで音を出してみる		
8	実習	16th note feel		
9	実習	シンコペーション、右手のストローク(空ピッキング、カッティング)		
10	実習	5弦、6弦の音名、ポジションの拡張(12フレットまで)		
11	実習	オープンコード、セーハーコード		
12	実習	課題曲に挑戦してみよう		
13	実習	課題曲に挑戦してみよう		
14	実習	課題曲のおさらい		
15	実習	総復習		
準備学習 時間外学習	授業で学んだことを自分なりに整理し明確にする。			
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	授業内評価		
教材	教科書	オリジナルの資料		
	参考書			
学生への メッセージ	授業内で思うように弾けなくても大丈夫です。将来たのしくギターを演奏出来るように必要なテクニックについて課題曲を通して一歩ずつ学んで行きましょう。			

商業音楽科 シラバス

科目名	制作(卒業制作)	担当教員名	水島 秀樹
時間数	180	必修・選択	配当年次
曜日・時限			2年次
授業の到達目標		教室	LS1
授業の内容	<p>コンサート、ライブ、イベント全般通じてアーティスト、ゲストが楽しめる空間の構築。ノークレームを目指す</p> <p>イベントコンセプトの共有等ミーティングから、制作についての実務を行い、当日までのスケジュールを作成する。コンセプト、テーマを理解し、クライアントの要望に応えられる内容を制作し、他学科の学生と共有していく。</p> <p>【実務経験】1990年大阪スクールオブミュージック専門学校卒業。その後東宝芸能と契約、各テーマパーク等でダンサーとして活動、バンドとしても活動を行い1998年CDデビュー。2001年より東京スクールオブミュージックにてヴォーカルを担当。</p>		
回数	授業形態	内容	
1	演習	コンセプトミーティング	
2	演習	各演目リーダー顔合わせ	
3	演習	第1回テクニカル、運営ミーティング	
4	演習	リハーサル見学&各演目とのコンセプトミーティング	
5	演習	テクニカルリハーサル	
6	演習	第2回テクニカル、運営ミーティング	
7	演習	クオリティチェックサポート	
8	演習	演出ミーティング	
9	演習	演出ミーティング & テクニカルミーティング	
10	演習	全体リハーサル	
11	演習	最終テクニカル、運営ミーティング	
12	演習	全体リハーサル	
13	演習	現場全体リハーサル	
14	演習	本番	
15	演習	振り返り	
準備学習 時間外学習	多くのアーティストのライブ映像をみしておく		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技課題100%	
教材	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ	1年間頑張った成果をたくさんの方に見てもらい、出演者からたくさんの「ありがとう」をもらいましょう！ 最高の感動を伝えられるように、最後まであきらめずに頑張りましょう！		

商業音楽科 シラバス

科目名	制作(業界研修)	担当教員名	水島 秀樹
時間数	120	必修・選択	配当年次
曜日・時限		教室	2年次
授業の到達目標	業界で実務を通して、職業人としての身構え・気構え・心構えを習得する。		
授業の内容	業界の一員として、実務を経験する。社会人基礎力を身に着ける。 研修日誌記入を通して、実務報告をする。		
【実務経験】1990年大阪スクールオブミュージック専門学校卒業。その後東宝芸能と契約、各テーマパーク等でダンサーとして活動、バンドとしても活動を行い1998年CDデビュー。2001年より東京スクールオブミュージックにてヴォーカルコース、企画コースを担当。			
回数	授業形態	内容	
1	演習	研修ガイダンス(研修届、研修日誌の記入について)	
2	演習	履歴書の記入	
3	演習	面接練習	
4	演習	職場でのマナー、報告連絡相談	
5	演習	業界研修1	
6	演習	業界研修2	
7	演習	業界研修3	
8	演習	業界研修4	
9	演習	業界研修5	
10	演習	業界研修6	
11	演習	業界研修7	
12	演習	業界研修8	
13	演習	業界研修9	
14	演習	業界研修10	
15	演習	振り返り・レポート提出	
準備学習 時間外学習	ビジネスマナーの予習、研修日誌を記入し業務態度を振り返る		
成績評価	1. 実技試験(%) 2. 筆記試験(%) 3. 課題(%)	実技課題100%	
教材	教科書		
	参考書		
学生への メッセージ	憧れの職場で実務を通して「業界に喜ばれる人材」になりましょう		